

RI 会長メッセージ

「よいことのために手を取りあおう」

UNITE FOR GOOD

2025-26 年度 国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツオ
ラグーザ・ロータリークラブ（イタリア）



親愛なる友人の皆さま

2 週間前、私は自宅の居間で孫たちと遊んでいました。その数日後、私はカルガリー行き
の飛行機に乗り、この素晴らしい組織を率いるという突然の責任を負うこととなりました。
人生はあっという間に過ぎますが、自分がいるべき場所に導いてくれるものです。

今年度の始まりに、次の明確なメッセージをお伝えしたいと思います：よいことのために
手を取りあおう。シンプルながら、力強いフレーズです。ロータリーでは、あらゆる取り
組み、日々の奉仕、入会してくる新会員、世界的な課題への対応の裏に、二つのことがあ
ります。それは「友情」と「信頼」です。

強いクラブは、友情と信頼によって築かれます。私たちは、友情と信頼のもとに有意義な
パートナーシップを築き、世界的な問題を各地域で解決へと導きます。私たちは、肩書や
称賛のためでなく、謙虚さ、人間性、思いやりをもってリーダーシップを発揮します。し
かし、実のところ、このようなリーダーシップは必ずしも簡単ではありません。私たちは
人間であり、間違えることもあります。意見が対立することもあります。ロータリーで
はより大きな視点が求められます。ロータリーのビジョン声明の全文を見てみましょう：

「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むた
めに、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています」

特に肝心なのは、「自分自身の中で」という部分です。なぜなら、変革とは戦略から始まる
ものではないからです。変革は、一人ひとりの人格や互いへの接し方から始まります。ど
のように耳を傾け、サポートし、奉仕するかということから始まるのです。

今年度、そのことを胸にリーダーシップを発揮していただくようお願いいたします。関係
を通じてロータリーを成長させ、より親しみやすく、柔軟で、新しいアイデアを受け入れ
るクラブとなり、1 年という枠を超えてビッグに考えてください。私たちの任期はあっとい
う間ですが、継続性とビジョンを持って計画、行動すれば、末長いインパクトを生むこと
ができます。私たちの優先事項が、会員増強、ポリオ、平和であることも忘れないように
しましょう。かつてないほどポリオの根絶に近づいていますが、ここで歩みを止めるわけ
にはいきません。世界の子どもたちとの約束を守らなければなりません。また、ロータリー
は 1 世紀以上にわたって平和を構築してきました。安全な水のシステム、青少年交換、
母子の健康プロジェクトなど、あらゆる活動が平和へのステップとなります。

私が若き職業人としてロータリーに入会したとき、役に立ちたいと強く思っていました、人前で話すことを恐れていました。ロータリアンの仲間たちが私を信頼し、さまざまな役割を担うよう背中を押してくれました。そうする中で、ロータリーが私の人生を変えました。ロータリーは、勇気と目的を与えてくれました。何よりも、皆さま、すなわち世界中の友人、チーム、ファミリーを与えてくれました。

友人の皆さま、引き出しの奥にしまっていた夢、特に大きすぎたり大胆すぎたりして実現できないと思っていた夢を、取り出すときが来ました。その夢に光を当てましょう。クラブ、地域社会、そして世界のために、よいことのために手を取りあおうではありませんか。リーダーとして奉仕するだけでなく、喜び、つながり、愛に満ちた1年といたしましょう。

感謝と敬意を込めて

2025-26 年度国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツォ

*****プロフィール*****

矯正歯科の開業医で、シチリア島でエキストラバージンオリーブオイルを生産する農業企業を所有。

パドヴァ大学卒業。イタリア、ヨーロッパ、アメリカの矯正歯科協会のメンバーであり、イタリアとヨーロッパの舌矯正歯科協会のメンバーでもある。カリアリ大学歯学部で舌矯正歯科の修士号も取得。

ラグーザ県の National Association of Italian Dentists の副会長を務め、National Trust for Italy 創設者として同団体で7年間ラグーザ県を代表。

シチリア島モンティ・イブレイ地域での農業企業の所有に加え、この地域での良質な石油生産を管理・規制するコンソーシアムの管理評議会の副会長を務める。同地域に二つのブティックホテルを所有。趣味は現代美術鑑賞とオペラ。

36 年来のロータリー会員であり、合同戦略計画委員会副委員長、RI 理事、2023 年メルボルン国際大会委員長、ラーニングファシリテーター、地区大会での会長代理などを歴任。

観光業界の起業家であるアナ・マリア・アレツォ・クリシオーネ夫人との間に二人の娘さんと二人のお孫さんがいる。娘のラファエラさんはロータリー青少年交換で米国フロリダ州に1年留学。妻アナ・マリアさんと共にロータリー財団のベネファクターとメジャードナーとなっている。

